

第47回 徳島県の紹介 ⑪

阿波藍の歴史



阿波藍の繁栄

徳島県は東西に吉野川が流れ、その流域で藍を栽培していました。しかし、当時の吉野川には堤防が築かれていませんでしたので、毎年、台風の時期に多量の雨が降り、川は氾濫し、大洪水が起きていました。台風は稲刈りの時期の前に来ることが多かったので、大きな損害を被る危険性が伴い、稲作には適さなかったのです。その点、台風の前に刈り取りが終わってしまう藍作は、徳島県に適した産業でした。

語釈

ㄣ̄ ウェイ デェア ダオ デイ ファン ジン フォ フェイ ウォ デイ トゥ ラン
 yin wei de dao de huan jing he fei wo de tu rang
 因为徳島的環境和肥沃的土壤
 徳島の環境と肥沃な土壤は

シー フェア ラン デイ チョン チョン スォ イー ファン ロン チョン ション ラ
 shi he lan de cheng zhang suo yi fan rong chang sheng le
 适合蓝的成长，所以繁荣昌盛了。
 藍作に適している、だから繁栄ました。

因为(因為 ㄣ̄ ウエイ)

前置詞 (〔因为+語・句〕を主語の後または前に用い、原因・理由を示し)

…のために、…のだから、“所以スォ イー”と呼応して用いることも多い。口語書面語を問わず用いられる。

シン クー ラ
 xin ku le
 辛苦了。
 お疲れさまでした。

◆ 声調符号のついていない音節を「軽声」といいます。軽く短く発音します。